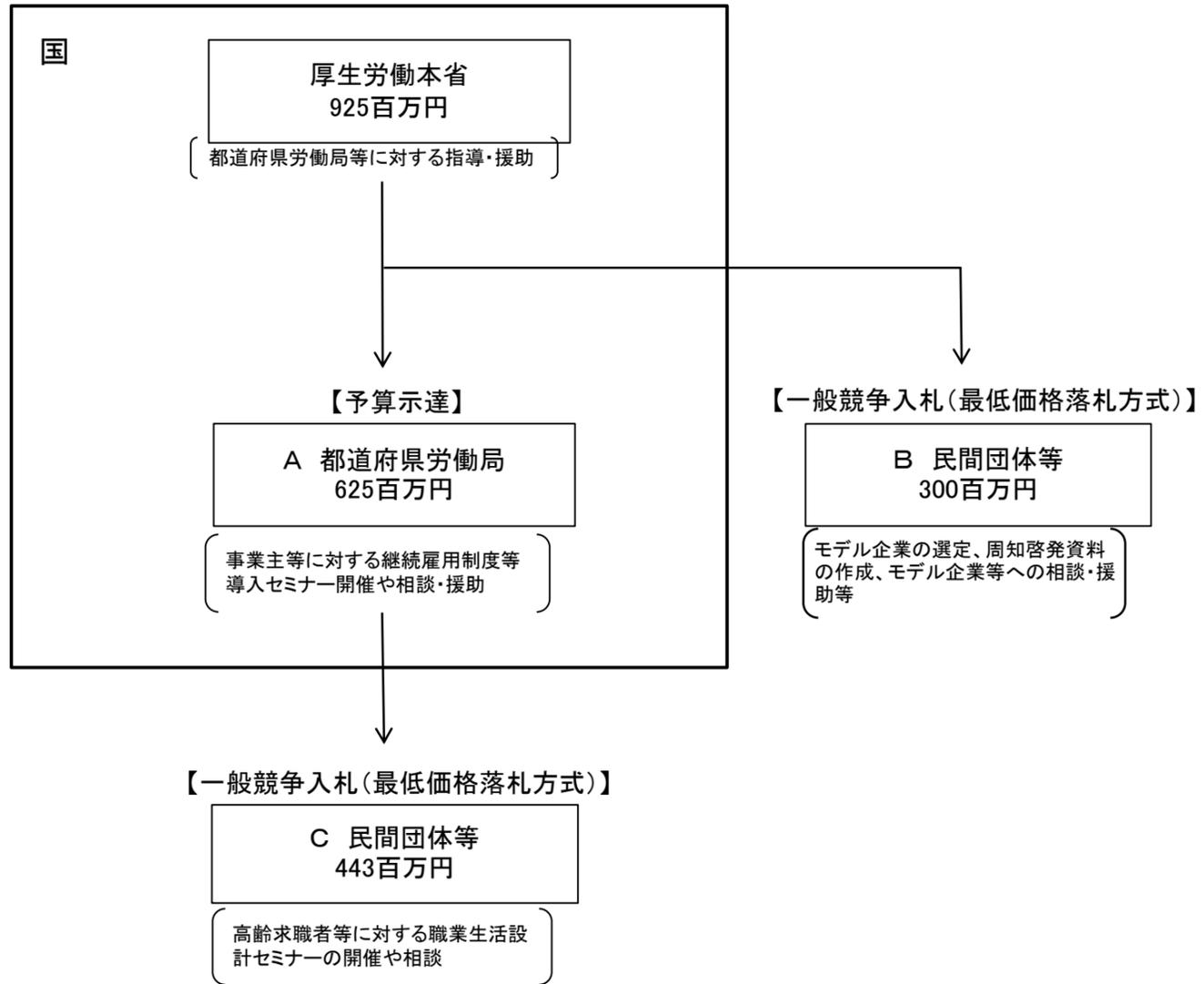


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	生涯現役社会実現事業		担当部局	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度(開始)・終了年度未定		担当課室	高齢者雇用事業室	高齢者雇用事業室長 吉野 彰一		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定		政策・施策名	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第3号及び第5号		関係する計画、通知等	高齢者等職業安定対策基本方針(平成24年厚生労働省告示第559号)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	希望者全員が65歳まで働ける制度の導入義務化等を内容とする改正高齢者雇用安定法が平成25年度に施行されること等を踏まえ、年齢に関わりなく働き続けることができる生涯現役社会の実現を図ることを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	地域において中核的な役割を果たす企業におけるモデル的な取組みを通じて、地域ぐるみの機運醸成を図るとともに、高齢求職者等が生涯現役で働くことができるよう職業生活設計に係るセミナー等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				925	850
		繰越し等					
		計				925	850
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	セミナー受講者から「役に立った」旨の評価を受ける割合	成果実績	%	-	-	-	80
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	普及啓発事業所数	活動実績(当初見込み)	社	-	-	-	-
					(-)	(-)	(7,000)
単位当たりコスト	132,207(円/社)		算出根拠	平成25年度予算額(925,452千円)を平成25年度普及啓発事業所数見込み数(7,000社)で除して得た額。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	謝金	131	134	執行状況を踏まえ委託額を見直したことによる減。			
	旅費	8	9				
	庁費	44	45				
	委託費	742	662				
計	925	850					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	生涯現役社会を実現するためには、国が主体的に事業を実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	生涯現役社会の実現を目指すものであり、国の責任において実施すべき事業である。なお、可能なものについては民間委託を行い実施することとしている。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	生涯現役社会の実現に向けた機運醸成等を測ることができ、優先度の高い事業である。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	民間委託を行うものについて、一般競争入札(最低価格落札方式)により支出先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	大企業を中心として機運醸成等を図ることとしており、関係企業に対する影響等も鑑みて適切な水準にあると思料する。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	生涯現役社会の実現を図るために実施する事業であり、本事業の趣旨・目的を的確かつ効率的に実施する体制が整備されているものと思料する。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
年齢に関わりなく働くことができる生涯現役社会を目指すための環境を整備するため、地域の中核的企業をモデル企業に選定し、当該企業における取組みを通じ、生涯現役社会実現に向けた地域ぐるみの啓発・援助を実施するほか、高齢労働者の職業生活の設計等に係る支援を行うための事業であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度の高い事業である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-0051

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※平成25年度新規事業であるため、平成25年度予算額を記載。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					